

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山岩出校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			スペースを取っているため余裕がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の定着を図る。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			子どもが安心して過ごせるように配置や設備を配慮していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		広く職員が参画出来るよう努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		業務改善につなげるように努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で閲覧できるようにし、HP 等でも公表する予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。今後実施するかは会社と相談していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ZOOM を使用した初任者研修、毎月の定例研修及び臨時の研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを適切に行いニーズの分析を重ね作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			会社共通のツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			話し合い作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の状況に合わせ工夫するように努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時には宿題や復習、テスト前にはテスト対策を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月曜開所日を利用し、集団のイベントも実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で情報共有しているが、個人間で行っている時もある。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		短時間であるが、主だったことを共有するように努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回支援記録を取り、改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		アセスメントの結果を踏まえて、個々に応じた支援を作成している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議は実施されていないが、紙面共有をしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者からの申し出により学校訪問や電話連絡を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在該当者はいないが、連絡体制は整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			電話連絡や紙面共有をしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在該当者はいないが、情報提供できる体制を整えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター及び医療機関で実施した発達検査の結果や支援について助言をもらっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後そのような機会を得られるよう工夫する。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に行われる自立支援協議会に代表として児発管が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了時に振り返りで内容を伝え、保護者に情報をもらっている。
保護者への	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者からの相談依頼があれば、積極的に改善策を探る。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や毎月の請求時に説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家庭訪問に事業所内相談日を設けたり、相談に応じる機会を設定したりしている。

説明責任等					
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	1度ママカフェを開催したが、今後回数を増やしていく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に受付窓口の案内をしている。日頃から情報を共有し、利用者だけでなく保護者の意見や気持ちをお聞きしながら最良の支援に努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページやブログやラインを使用し情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報が入力されている書類などはカギ付きの書庫に保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		口頭だけでなく視覚情報等を活用しながら意思疎通や情報伝達を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	行事を通じて地域に周知を図るよう、イベントのチラシ配り等行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		契約時に紙面で渡し周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月防災訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年虐待研修等実施している。虐待防止委員会活動を実施する予定である。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		契約時に説明し、了承を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事の提供は行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット事例が発生した場合には、報告書を作成、保管し、職員間の共有に努めている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」和歌山岩出校 保護者等数（児童数）25：(28) 回収数：24 割合：96 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	1	ZOOM のため
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	10	2	・トイレは広い。 ・入り口は少し狭い。 ・入り口の扉が重い。一層安全に配慮していく。ZOOM のため
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	22	0	0	
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	22	1		・英・数以外にも対応してほしい。今後話し合いながら考えていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	8	5	Zoom で同じきらりの子と一緒にできる時はいいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	7	2	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	2	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	2	0	・わからない箇所を知りたいが子どもが教えてくれないという意見があった。子どもさんから得た情報をうまく伝えていくよう努める。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	1	0	

	⑭	個人情報に十分注意しているか	22	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	3	0	・緊急時のマニュアルはある。 ・zoom のため
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	4	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	17	4	1	本人の気分によるためかわり方をその都度考える。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	2	0	先生が変わると一からになった気がしました。また慣れると思いますという意見がありました。保護者と相談のうえでの指導員交代を考えていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇等の別に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。